



○内務大臣並次官交迭に付本會顧問並副會長を左の如く委嘱せらる。

顧問 内務大臣 男爵 平沼騏一郎
副會長 内務次官 萱場軍藏

○本會新特別會員並評議員

過般の府縣知事交迭に伴ひ左の新任長官に本會特別會員並評議員を委嘱したり。

東京府知事 川西實三
京都府知事 安藤狂四郎(現評)

大阪府知事 三邊長治(現評)
新潟縣知事 土居章平
○神奈川縣外六縣土木部課長交迭に付夫々本會地方幹事を委嘱したり。

神奈川縣土木部長 宮崎正夫
富山縣 土木部長 上田柳一
廣島縣 土木部長 大島六七男
長崎縣 土木課長 佐々木銃
千葉縣 土木課長 尾崎義一
山形縣 土木課長 加藤平吉
高知縣 土木課長 今泉佳三郎

○道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り左の通表彰することとし關係地方廳にそれぞれ傳達方を依頼せり。

昭和十六年二月十一日表彰
表彰狀 滋賀縣甲賀郡伴谷村道路愛護會

同 縣坂田郡神田村道路愛護會

同 縣東淺井郡上草野村道路愛護會

同 縣高島郡饗庭小學校道路愛護會

表彰狀、二等功績章、單杯滋賀縣一等修路工夫

安田竹治郎

同 井上甚太郎

同 石田久與

同 岩井春次

同 福田治三郎

同 佐賀縣 道路工夫 永吉茂市

同 田崎八郎

同 福島縣 道路工夫 荒宗七

同 和歌山縣土木工夫 川合福太郎

同 奧信夫

同 木村安吉

同 大野喜代松

同 金附常市

○内務省土木試驗所談話會

第二百十二回技術談話會話題

昭一六、一、一七 午後一、三〇—四、三〇

一、國土計畫に包含さるべき本邦道路建設計畫(二〇分)

藤井技師

二、タコマ橋の墜落並に方杖橋に就ての所見(二〇分)

田中豐教授

三、北支建設四ヶ年の所見(三〇分) 猪瀬寧雄氏

四、自動車の雪上走行に關する映畫

日本内燃機株式會社提供

(日本内燃機株式會社に於て雪上自動車の製作を行ひ本邦深

雪地方及び凡ゆる種類の積雪に對して自由に走行せしめ

たる經驗結果を映畫を以て説明す)

五、太平洋並に南極に活躍する本邦水産活動の現況

(映畫三卷) 日本水産提供

松本惠市

第二百十三回技術談話會話題

昭一六、一、三一 午後一、三〇—四、〇〇

(猪谷善一氏經濟新體制確立の方嚮)

○建設(十一月)

○都市公論(號一月號)

○乗合自動車(一〇月號)

○石油時報(一〇月號)

○都市問題(第三二卷一號一月號) (國土計畫と都市)

○三田學會雜誌(第一月)

(増井幸雄氏) 自動車交通專業法の改正に就て、小島榮

次氏 日本地理區の研究と國土計畫

○自警(一月號)

○セメント界彙報(一二月號)

○道路(第三卷第一號) (金子柁氏) 國防道路

○コンクリート擁壁(コンクリート叢書三八)

○港灣(第一九卷一號)

○水利と土木(第一四卷一號)

○鐵道軌道經營資料(一月號)

○法律時報(一二月號)

一、黄土の含水量と強度及びソイルセメントの強度に關する試験報告(第一報) (三〇分) 福島技師

二、黄河上流部水力發電地點に就て (三〇分) 高田技師

三、蒙疆地域に於ける黄土の成因と地隙生成に關する考察 (二〇分) 高田技師

四、石灰鋪裝に就て (二〇分) 山田技師

五、海南島の一般、その土木建設工法に對する所見 (三〇分) 藤野技師

六、國防的見地よりの土木建設工法への要望 (三〇分) 布袋大尉

○近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

○電氣通信學會雜誌(第二二三號)

○大阪商工會議所會報(第四〇四號)

○汎交還(一月號)

○セメントコンクリート道路(金子衞氏高野務氏、獨逸コ

ンクリート道示方書)

○警察協會雜誌(一月號)

○土木工業(第三卷一號)

○土木學會誌(第二七卷一號)

○觀光聯盟情報(一二月號)

○東大陸(二月號)

第二十三卷第一號中正誤

○追加表彰竝に前號掲載表表彰者

追加 在職二十三年 延岡市 助役 近 藤 政

掲載洩在職二十一年 山形縣道路技師 田 中 長 吉

○前號掲載表彰者中取消

左記は前號に於て道路行政二十年以上勤勞者として表彰

の旨記載せるも誤載に付取消

島根縣土技木師 門 司 武 久

寺 田 屋 (三)

歴史はくり返すや否やは知らぬが五・一五事件以
來の革新の跡を辿つて幕末維新の黎明期をふり返つ
て見ると將來への示唆と啓發を感ぜずにはゐられな
い大政翼賛會臨時協力會議や今期議會における新體
制に對する質疑應答から見て、昭和維新は今將に新
時代に飛躍せんとする歴史的大切斷點の一步手前に
到達しつゝあるのではないか。そして思想的に一日
も早く脱皮の合武合體な現狀から躍進することが皇
國日本の興隆上緊要なことであると思ふ。